



くわた 恭子 通信

<http://kyoko.moo.jp>
zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 H30年11月26日
発行者 広島市議会議員
くわた 恭子
〒731-5154 佐伯区河内南2-30-2
TEL 082-929-2930
FAX 082-929-2928

《この通信は会派の承認を得て発行》

地域の皆様 お世話になります。市議会議員のくわた恭子です。
通信50号を発行いたしましたのでお届けいたします。
議会ごとに年間4回発行してきました「くわた恭子通信」が、
おかげで50号となりました。自分自身の議会での質問を中心に
報告してまいりましたので、通信は皆様への報告と共に 自身の
大切な資料にもなりました。

先日、息子が、お母さんの通信を1号から読んでみたんだと結構
おもしろいね。アスラムラインの事は、おぶん前から質問していたんだ
ねと... 41歳で皆様に議会に送り出した当時の息子は
中学生でした。区内に住んでいないので有権者ではありませんが、身近な
ところにファン1人います。今回の通信50号とこの特別な内容はありま
せんが、9月議会、平成29年度決算についての内容を書かせていただきました。
これからは、7-7の議会、議案を大いに審議してまいります。



決算特別委員会での質問

9月議会/競輪事業存続に反対 将来性? 大いに疑問

平成30年5月29日付で、広島市競輪運営委員会より今後の競輪事業について答申が出されました。

答申要旨

広島市の競輪事業は平成27年7度から3年間実施した民間への包括委託により大幅な収支改善が
図られた。この包括委託を今後継続するならば、少なくとも10年程度は一般会計への繰り出しを
行いつつ安定した収支を見込める状況にある。が、事業継続には施設の再整備、再整備費用の
確保が課題である。さらに10年以上長期にわたり存続、活性化するには、顧客ニーズに合致した
収益増加策や、スポーツ・レジャーとして市民が利用できる複合施設としての再整備が必要である
今後は、再整備を含む包括委託方式について、その導入の可否、再整備の規模、内容、市の負担
に係る具体的な検討を進められ、その結果本事業が継続されることを期待したい。

民間への包括委託により基金及び繰越残高が21億円に達し、平成30年度予算で3億円を一般会計に繰り出している今後も財政への貢献が見込まれる。今後3年間の包括委託の期間、新たなレジャー施設の検討を行い、競輪事業の存続を図りたい。

答申を踏まえ市は補正予算と条例改正を提案
● 平成31年度～33年度までの包括委託料
10億6199万4千円の債務負担行為の設定
● ミッドナイト競輪を他都市の競輪場で実施するための条例改正

質① 今後10年間安定した運営ができるとした根拠は?
現在の包括委託実績の成果を踏まえ、このままの委託を継続するなら10年間は一般会計への繰り出しを行いつつ、安定した収支を見込めるとの評価を受けている。市としても毎年、数億円の繰り出しが可能と判断。

質② 今後10年間で30億円程度の繰り入れが可能か?
今議会でも債務負担行為の決定後プロポーザルにより事業者を決定することとなる。事業者の黒字目標により繰り出し金は決まる。現時点では金額は示せない。

質③ 競輪ユーザーは高齢者が多く、競輪人口、選手は増えることはない。10年先、繰り入れができない状態になった場合どうなるのか?
この新たな包括委託方式は、事業者の資金、アイデアノウハウ、整備を含めて活用を図ることで、将来のリスクを軽減し、安定した拠出の枠組みを作るもの。この3年間で十分検討を行う。

広島市競輪場は、昭和27年12月に開設。昭和29年以降、広島市一般会計に総額345億円の拠出を行い、体育館、集合所などの整備に貢献してきた実績がある。平成10年以降は、平成20年に2千万円の繰り出しのみで、平成30年の3億円の繰り出しは10年ぶり。この間、赤字が生じているが、経営基盤の強化のため繰り出しは行っていない。平成27年度以降、包括委託により収支改善した事と強調されるが、車券の売り上げが伸びたためではなく、経営コストの削減によるもの。民間委託後も、車券売り上げ、本場、場外の入場者数は毎年減少している。ミッドナイト競輪に期待するも、本市にはナイフ設備がないため他都市の施設を利用するのみで、収益は不透明。将来性が見込めない。21億円の基金は、解体費14億円のため保持するが、賢明ではない。

皆様のご意見をお聞かせ下さい



決算特別委員会 サッカー場検討と旧市民球場跡地活用について 球場跡地でのイベント収益は0円、事業者のもうけは無い？

旧市民球場跡地は、秋葉市長が球場をヤード跡地に移転して以降、整備されない更地の状況が続いている。松井市政に入り、平成25年3月活用策が示されたが動きはなく平成26年11月、サッカースタジアム検討協議会の議論の末、広島みなと公園と共にサッカースタジアムの候補地となり整備計画はスタジアムの候補地が決まるまで延期となった。平成25年春、ひろしま菓子博がこの地行われ集客のある会場であることが実証され、9月より今まで公的な団体の利用しか認めていなかったが、広く民間の利用も認め、飲食を伴う大規模なイベントが開催されている。球場跡地は国有地のため、基本イベントの利用料金は0円。なので、利用にあたってはルールがある。

- イベントに対しての公共団体の公演又は協賛が必要
 - イベント終了後、収支報告書を提出、収益が開催経費を大幅に上回ったら福祉活動などに寄付する。
- つまり、華やかなイベントを行っても民間事業者は儲けてはいけないことになっており、担当課に確認しても、どのイベントも収支はほぼ0円と答弁しました。例えば、毎年開催されるビール関係のイベント、1日1万人程度来場し、1杯900円するビールを販売しても収支はほぼ0円との報告。ありえません。

質① 球場跡地のイベントで収益が無いことをどのように確認しているのか、領収書の添付などは行われているのか？

現在、領収書の提出は義務付けていません。イベントの収支の確認は、補助事業のように公金を支出し確認をするという性格のものではないので、関係書類の確認で足りている。

更に、領収書を取ればとかなと質問したか、必要ないとの答弁では、市の補助事業ではないとの答弁です。利用料金が免除なのは、補助と変わりません。領収書なしでは、収支報告書の確認はできません。

球場跡地のイベント利用は、暫定的な措置のはずですが、民間が継続して事業を行っている。理由は、利用料金も無く、儲けが多いため。一部の利用者が得をするような仕組みは認めないつもりです。正しく審査し収益が出たのなら次も寄付するか、値段を下げてもらいましょう。

決算特別委員会

●その他プラと可燃ごみの統合はできないか？

●大型ごみ自己搬入の渋滞は2000台 土日の受け入れはできないのか？

平成29年度 家庭ごみ処理状況 (t)

区分	収集量	焼却	埋立	資源化	無害化
可燃ごみ	139,997	139,997			
ペットボトル	2,427	438		1,989	
リサイクルプラ	17,717	3,105	60	14,552	
その他プラ	5,116	5,116			
不燃ごみ	5,750		5,750		
資源ごみ	27,989	4,213	2,145	21,531	100
大型ごみ	9,203	5,477	2,562	1,164	
有害ごみ	237				237

可燃ごみとその他プラは収集日は違うが処分は焼却である。平成27年3月作成の「広島市一般廃棄物処理計画」において今後の検討課題として、可燃ごみとその他プラの収集の統合が記され平成28年度から実施する計画だがなされていない。

中工場、安佐南工場はその他プラの焼却が可能、南工場と安佐北工場は安全性が確保できないので統合は見送っている。との答弁。現在その他プラは中工場に運ばれている。

平成29年度の家庭ごみの可燃ごみは約14万トン、統合したら良いと思うその他プラは約5千トン可燃ごみに対する割合は4%現在の焼却炉でも吸収できる量だと思う。事業系の可燃ごみが同様に約14万トン焼却処分されている。この中には、およそ2万トンのプラスチックごみが含まれ4工場にそれぞれ搬入されている。そこに5千トンのプラごみが増えて危険であるとの説明は納得できない。そんなにギリギリで運転しているのか？統合することで億単位の委託料が削減できるのではと考える。

大型ごみの処理にお困りではないか・・・平成13年から有料化が始まる。予約を取りシールを貼り、月2回の指定日に出す。現在予約の電話もかかりにくい状態と聞く。一方、各自で安佐南工場の破碎センターに持ち込むのは無料。近年この自己搬入が激増している。現在に状況はどうか？

有料化前の平成12年との比較では、持ち込み量は50倍、搬入車両は120倍ゴールデンウィークの平日には、2000台を超える車両で大渋滞となる。(大型ごみの総量は変わっていない)

このような渋滞に課題意識は無いのか、土日の受け入れも検討できないのか？

平成15・16年度に4日平成17・18年度に8日、土日を開放した集中して渋滞となったため中止とした。2000台の渋滞には30人の警備員を配置しているが、受入れ拡大は考えていない

福岡市、横浜市などは土日を含めた予約制を導入している。担当課も十分調べているが、導入に当たっては、コールセンターの設置費用など経費面での課題がある。利用者は、量に応じて有料でもよいとの声もある。2000台の渋滞は危険である。